

文学部学生の皆さんへ：「高度教養科目」履修上の注意点

「高度教養科目」について

I 目的

1. 自分分野の専門性を身につけた学生が、複数の学問分野に関わる課題を学ぶことにより、高度な複眼的思考能力を修得し、異なる分野での価値観や解決手法を理解すること。
2. 上記の学生が、異なる分野の学生と協働して様々な課題に取り組むことにより、自主性、コミュニケーション能力、チームワークなどの社会的能力、問題解決能力を身につけること。

II 開講方法

1. 開講区分： 各学部、国際教養教育院が提供する特定の科目
2. 開講年次： 原則として3、4年次生を対象とする。ただし、学部の判断により、2年次後半から履修することができるものとする。 ※開講科目は『学生便覧』63ページを参照
3. 「自分分野」と「他分野」：自分の専修により決定

A分野（科目）：「哲学」「国文学、中国文学、英米文学、ドイツ文学、フランス文学」

B分野（科目）：「日本史学、東洋史学、西洋史学」「心理学、言語学、芸術学」「社会学、美術史学、地理学」

- ・自分分野科目：自分の専修が属する分野
- ・他分野科目：自分の専修と別の分野 & 他学部開講科目 & 国際教養教育院開講科目

例) 哲学専修生 : 自分分野 → A分野科目
他分野 → B分野科目 & 他学部開講科目 & 国際教養教育院開講科目
日本史学専修生 : 自分分野 → B分野科目
他分野 → A分野科目 & 他学部開講科目 & 国際教養教育院開講科目

4. 必要修得単位数

4単位

⇒自分分野から0～2単位
他分野から2～4単位

例：①自分分野から0単位、他分野から4単位
②自分分野から1単位、他分野から3単位
③自分分野から2単位、他分野から2単位

5. 単位認定（上記以外）

- ・交換留学および学部で承認した留学において修得した単位を高度教養科目として認定することができる。
→ 留学前後に、それぞれ速やかに届け出ること。

- ・海外のサマースクール、海外インターンシップを、高度教養科目として認定することができる。

※海外のサマースクール：国内の大学で外国語で開講される専門科目、海外の大学で開講される語学研修を除く科目

◎開講科目が限られていますので、早めに単位を取得できるよう計画を立てて勉強を進めて下さい。